



揺籃(ようらん)とは「ゆりかご」のことです。本校の校歌の一節に「霊の揺籃 わが母校」とあります。中条校は、生徒の皆さんにとって精神(魂)をすこやかに育む「ゆりかご」でありたいと思っています。

自己の成長と地域の活性化をめざして自ら参加する地域交流

～“中条でカブトムシを捕ろう”イベントにスタッフとして参加してきました～

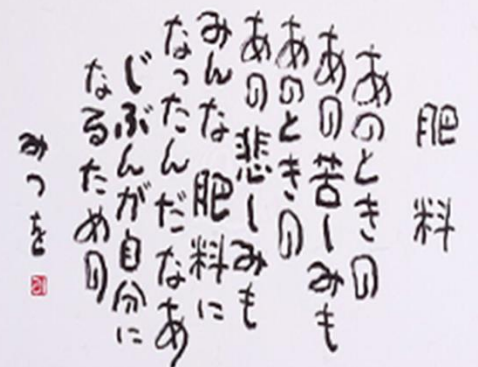
中条地区で毎年“海の日”に行われる行事と言えば・・・そうです、「中条でカブトムシを捕ろう」です。今年も7月16日に「中条道の駅」の裏山で開催されました。当日カブトムシを楽しみに来場された参加者は計約800名(約300組)。カブトムシがいる広場まで山道を登ってきた子どもたちは、木につかまっているカブトムシを見つけると、「いたいた！パパ、本当にいたよ！」と歓声を上げます。その間スタッフの高校生は、虫取り網を持って木から飛び立とうとするカブトムシを捕まえます。最初の頃はタイミングが合わず逃げていた高校生スタッフも30分が経過する頃には見事な手さばきで「パッ」と捕まえ、見ていたお父さんのお母さんから、「お～」と歓声上がるほどの腕前になっていました。朝から立ちっぱなしのスタッフ業務でしたが、子どもたちの喜び姿に参加した価値を感じた中条校生でした。



平成29年度一学期終業式(7月24日)

一学期の終業式らしく、たいへんな猛暑の中終業式が行われました。当日は、教務係の先生が会場となる視聴覚室の窓を朝から全開にし、さらに扇風機を7台ほど持ち込んだにもかかわらず、汗だくになる暑さでした。そんな中、式に先立って、検定試験に合格した生徒の表彰を行いました。表彰を受ける生徒に一人一人温かな拍手を送る仲間の姿がありました。本当に気持ちの良い生徒たちだと感心しました。

副校長からは、「79日あった一学期、すべてが思い通りになった人はいないと思う。どこかで辛い気持ちになったり、寂しい思いをしたりしたことと思う。でもその経験はみんなの力の基になっているはず。」と言って、右の相田みつをさんの詩を紹介しました。蓄えた肥料で二期さらに成長を果たしてほしいと思います。



夏休み中の様子



夏期学習



夏期学習



白馬クロスカントリー 職員参加



就業体験



就業体験



学校前の道路拡張工事

♪中条校発 公開講座“陶芸教室”♪

より開かれた学校づくりを推進するため、7月29日(土)と7月30日(日)の二日間にわたって、中条小学校・中条中学校・中条校の児童生徒や保護者を対象とした陶芸教室を開講しました。参加された方は27名。土の中の空気を抜く作業から始めるという本格的な教室でしたが、みんな夢中になって“ろくろ”をまわし、思い思いの作品を作っておられました。10台の“ろくろ”と“焼がま”がある中条校ならではの公開講座でした。



平成29年度二学期始業式(8月23日)

29日間の夏休みを終え、二学期が始まりました。副校長からは、「成功」の反対は？ という問いかけがありました。多くの方は、「成功」の反対は「失敗」だと考えるだろうが、「失敗」は「成功」への歩み。「失敗」を重ねることで「成功」に近づく。だから「成功」の反対は、「何もしないこと」ではないか。二学期は文化祭や強歩大会、森林の日など大きな行事が続く。「失敗」を恐れず「チャレンジ」して学び合おう！という話がありました。